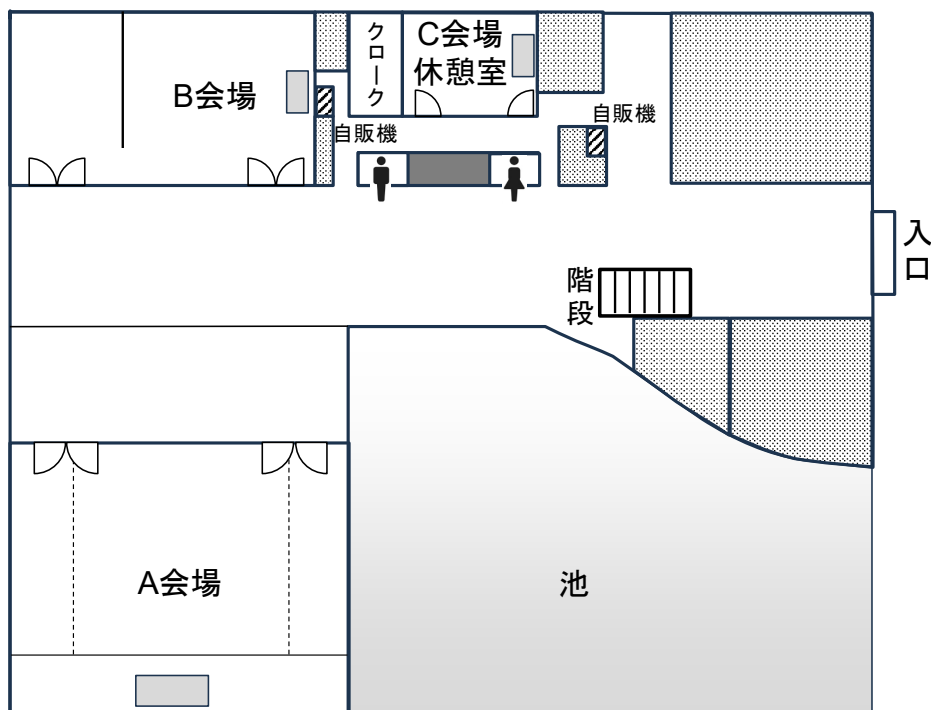






# 会場案内図

## 地域医療情報研修センター 1階



### 4月17日(金)

殺虫剤研究班：A会場

ダニ類研究班：B会場

病害動物の生理分子生物談話会：C会場

幹事会：C会場

### 4月18日(土)・19日(日)

一般講演：A会場・B会場

総会・受賞式・受賞講演：A会場

シンポジウム：A会場

編集委員会：B会場

懇親会：B会場前ロビー

# 参加者へのご案内

## 受付

場所：自治医科大学 地域医療情報研修センター1階 大会議室（B会場）前

時間：4月17日（金）12:30～14:00（事前登録された方のみ）、4月18日（土）8:30～18:00、  
4月19日（日）8:30～10:00

- ・事前に Payvent で大会参加費をお支払いいただいた方は、名札とネームホルダーはこちらで準備いたします。
- ・請求書、領収書、参加証明書は登録後に送信されるメールのリンクから各自ダウンロードをしてご使用ください。

## 一般講演・シンポジウム

！注意！ 講演スライドの写真撮影は禁止です

- ・一般講演 会場：A会場（大講堂）およびB会場（大会議室）  
4月18日（土）9:00～12:10、4月19日（日）9:00～13:00
- ・シンポジウム 会場：A会場、4月18日（土）15:10～18:00

## 総会・学会賞授賞式・受賞講演

会場：A会場、18日（土）13:20～15:00

## 懇親会

会場：B会場前（ロビー）、18日（土）18:00～20:00

## 研究班等集会・幹事会・編集委員会

4月17日（金）

- 殺虫剤研究班 (A会場) 13:30～16:00
- ダニ類研究班 (B会場) 13:00～16:00
- 病害動物の生理分子生物談話会 (C会場) 13:30～16:00
  
- 幹事会 (C会場) 16:30～18:00

4月18日（土）

- 編集委員会 (B会場) 12:10～13:10

## 昼食について

- ・事前参加登録時に18日（土）のお弁当の申し込みをされた方は受付にて12:00より配布します。
- ・飲食は休憩室およびロビーをご利用ください。
- ・大学の施設内（J-プラザ）にコンビニ（ファミリーマート）、スターバックス、レストラン（J-プラザ 2F）がございます。13:00までは病院内の通路を経由していくことが可能です。病院内を通りますので、移動時はマスクの着用をお願いします。受付で会場の建物からコンビニまでの案内図を配布します。13:00以降は施設外から直接入ることが可能となります。
- ・大学周辺に数カ所、食事処がございます。会場周辺図をご参考ください。

## クローク、休憩室について

- ・クローク：第1研修室、4月18日（土）8:30～18:00、4月19日（日）8:30～13:30
- ・休憩室：第2・3研修室、4月18日8:30～18:00、4月19日8:30～13:30

## 会場での無線LANのご使用について

- ・会場には接続フリーの無線LANはありませんのでご了承ください。
- ・大学等の教育・研究機関の方はeduroamによる無線LAN利用が可能です。ご利用される方は各自、事前に各所属機関でアカウント取得の手続きをしてください。当日はそのアカウントで接続していただきます。
- ・所属が教育・研究機関外など、eduroamのアカウント取得ができない方で、ご利用を希望される場合は大会前までに大会事務局へご連絡ください。ゲストアカウントを発行いたします。大会当日は受付で利用の説明をいたします。大会当日に発行依頼をされても対応できませんのでご注意ください。発行できるアカウント数に制限がございますので、所属先でアカウントが取得できるにもかかわらず、ゲストアカウントの発行を依頼することはお控えください。

## その他、会場についての注意事項

- ・緊急時を除き、会場内の連絡、電話の取次ぎや呼び出しは一切行いません。緊急時の連絡は大会事務局宛（[eido78@jsmez.org](mailto:eido78@jsmez.org)）にメールでご連絡ください。当日は大会事務局の電話はつながりませんのでご注意ください。
- ・会場内では、携帯電話は電源を切るかマナーモードに設定してください。
- ・車でお越しの方は、事前に事務局までご連絡ください。病院の駐車場をご利用すると、駐車料金が発生いたします。
- ・キャンパス内は全面禁煙です。

# 発表者へのご案内

## 講演時間

一般演題は1講演あたり発表10分、質疑応答2分で合計12分を厳守願います。予鈴9分（ベル1回）、本鈴10分（ベル2回）、終鈴12分（ベル3回）で時間をお知らせします。講演終了後は次の演題の座長をお願いします。午前の1人目の講演については事務局スタッフが座長を務めます。

## 発表用スライド

発表用スライドはWindows 11/PowerPoint環境で動作するものをご用意ください。Macなどのそれ以外の環境で作成する場合は、事前に上記環境で動作することをご自身でご確認ください。動画の挿入は可能ですが、予期せぬ不具合により動作しない場合がございますのでご承知おきください。

## 発表用スライドのアップロード

・後日知らせするリンクの投稿フォームから、スライドをアップロードしてください。動作確認をしますので、**4月10日（金）までにアップロード**をお願いします。

投稿フォームアドレス：3月19日頃に公開予定。メールおよび大会Webサイトで通知いたします。

- ・ファイル名には演題番号と氏名を入れ、演題番号と氏名の間にはアンダースコア（アンダーバー）を入れてください。（例）A01\_水島.pptx、A01\_Mizushima.pptx
- ・発表用スライドに動画が含まれている場合は、投稿フォームの「動画あり」にチェックを入れてください
- ・スライドデータは大会終了後、事務局で責任をもって消去いたします。

## 利益相反（COI）の開示

発表には利益相反（Conflict of Interest (COI)）の開示が必要です。開示すべき事項がある場合は、発表スライド内に明記してください。該当する事項がない場合は、表紙ページ等に「開示を必要とするCOI関係がない」旨を書き添えてください。なお、COIの有無により発表自体が制限されることはございません。詳細につきましては、日本衛生動物学会ホームページ内にある「利益相反(COI)」(<https://www.jsmez.org/about/coi/>)をご参照ください。

## 講演資格

一般講演は、学会員でないと発表できません。現在、発表予定者で非会員の方は、4月16日（木）までに下記の学会事務局にて入会手続きをお済ませください。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター 日本衛生動物学会担当

電話：03-5937-5716 ファックス：03-3368-2822 電子メール：jsmez-post@as.bunken.co.jp

プログラム

4月18日(土曜日)

A会場(大講堂)

8:55 開会挨拶 大会長 加藤 大智

一般講演

9:00 **A01** 単為生殖フタトゲチマダニの組織・胚発現タンパク質に基づく立体構造データベースの構築

○川田 逸人<sup>1,2</sup>、小池 優貴<sup>2</sup>、佐々木 紗己<sup>2</sup>、神保 恵<sup>2</sup>、水谷 恵子<sup>2</sup>、三上 房子<sup>1</sup>、辻 尚利<sup>1,2</sup>、八田 岳士<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>北里大学 医 寄・熱、<sup>2</sup>北里大学 医療系 国際寄生虫病)

9:12 **A02** Functional Identification of Embryo-Specific Genes in *Haemaphysalis longicornis* for Vector Control Applications

○Kofi Dadzie Kwofie<sup>1</sup>, Hayato Kawada<sup>1,2</sup>, Yuki Koike<sup>2</sup>, Sana Sasaki<sup>2</sup>, Kei Jimbo<sup>2</sup>, Keiko Mizutani<sup>2</sup>, Fusako Mikami<sup>1</sup>, Naotoshi Tsuji<sup>1,2</sup>, Takeshi Hatta<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Dept. of Parasitol. and Trop. Med., Kitasato Univ. Sch. of Med., <sup>2</sup>Dept. of Mol. and Cell. Parasitol., Grad. Sch. of Med. Sci., Kitasato Univ.)

9:24 **A03** *In vitro* induction of sexual stages of *Babesia ovata* and the impact of tick feeding characteristics on the tick-*B. ovata* semi-artificial feeding infection model

○Liang Dong<sup>1</sup>, 白藤梨可<sup>1</sup> (<sup>1</sup>帯畜大 原虫研)

9:36 **A04** ネコの SFTSV 自然感染モデルの確立

○朴ウンシル<sup>1</sup>、石嶋慧多<sup>1</sup>、平良雅克<sup>1</sup>、網康至<sup>2</sup>、米満研三<sup>2</sup>、奥谷晶子<sup>1</sup>、加来義浩<sup>1</sup>、森藤可南子<sup>1</sup>、井上雄介<sup>1</sup>、武石真音<sup>1,3</sup>、宮本翔<sup>4,5</sup>、坂井祐介<sup>4</sup>、志和希<sup>4</sup>、岩田奈織子<sup>4</sup>、永田典代<sup>4</sup>、鈴木忠樹<sup>4</sup>、前田健<sup>1</sup> (<sup>1</sup>JiHS 感染研 獣医科学部、<sup>2</sup>JiHS 感染研 安全管理研究センター、<sup>3</sup>東京大学 ウイルス病態制御分野、<sup>4</sup>JiHS 感染研 感染病理部、<sup>5</sup>千葉大学 感染病態学)

9:48 **A05** ニッポンシロフアブ唾液腺主要抗原遺伝子のクローニングと組換えタンパク質の発現

○Zetian Zhang<sup>1,2</sup>、青木咲千子<sup>1</sup>、中尾勇太<sup>1</sup>、Ercha Hu<sup>1,2</sup>、Bayinchahan Gailike<sup>2</sup>、Wei Zhang<sup>2</sup>、Qingyong Guo<sup>2</sup>、菅沼啓輔<sup>1</sup>、河津信一郎<sup>1</sup>、井上昇<sup>1</sup> (<sup>1</sup>帯広大 原虫研、<sup>2</sup>新疆農業大学)

10:00 **A06** ヤブカの細胞における黄熱ウイルスやジカウイルス感染によって誘導される細胞死関連様因子

○佐々木年則、松村凌、小林大介、伊澤晴彦(国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所昆虫医科学部)

- 10:12      **A07**      希少糖 D アロースにより発現誘導されるハマダラカ中腸のキサンチンデヒドロゲナーゼの機能解析  
○水島 大貴<sup>1</sup>、山本 大介<sup>1</sup>、Ahmed Tabbabi<sup>1</sup>、新井 明治<sup>2</sup>、加藤 大智<sup>1</sup> (1自治医大・医動物学、<sup>2</sup>香川大 国際医動物学)
- 10:24-10:40      休憩
- 10:40      **A08**      *Aedes aegypti* 電位感受性 Na<sup>+</sup>チャンネル分子発現細胞の構築  
○鈴木高史<sup>1</sup>、溝越祐志<sup>1</sup>、木村忠史<sup>2</sup>、川田 均<sup>3</sup> (1神戸常盤大学、<sup>2</sup>Veneno Technologies、<sup>3</sup>長崎大学・熱研)
- 10:52      **A09**      Wisteria/BDEC-01 スーパーコンピュータシステムを用いたキャプチャプローブ NGS データの大規模変異解析手法の開発  
○駒形 修<sup>1</sup>、糸川健太郎<sup>1</sup>、仲川幹映<sup>2</sup>、糸山亨<sup>2</sup>、三條場千寿<sup>3</sup>、葛西真治<sup>1</sup> (1感染研/JIHS・昆虫医科学、<sup>2</sup>明治大学院・応用昆虫学、<sup>3</sup>東京大・応用免疫学)
- 11:04      **A10**      イエバエ用ナトリウムチャンネル全長キャプチャープローブの有用性検討：畜舎由来の4科ハエ類における *kdr* 解析  
○仲川幹映<sup>1</sup>、糸川健太郎<sup>2</sup>、犬丸瑞枝<sup>2</sup>、糸山亨<sup>1</sup>、葛西真治<sup>2</sup>、駒形修<sup>2</sup> (1明治大学院、<sup>2</sup>感染研/JIHS・昆虫医科学)
- 11:16      **A11**      First evidence of the N1570Y mutation associated with pyrethroid resistance and *Plasmodium* infection in *Anopheles gambiae s.l.* from Kinshasa, Democratic Republic of the Congo  
○Steve Nsalambi<sup>1</sup>、Emery Metelo<sup>2</sup>、Emile Z Manzambi<sup>2</sup>、Tresor Iluku<sup>2</sup>、倉本 樹<sup>1,2</sup>、白藤梨可<sup>1</sup>、福本晋也<sup>1,2</sup> (1帯畜大 原虫研、<sup>2</sup>Natl. Inst. Biomed. Res.、<sup>3</sup>酪農学園大 医動物学)
- 11:28      **A12**      インドシナ半島に分布するピレスロイド剤抵抗性ネッタイシマカの作用点変異と抵抗性レベル  
○葛西真治<sup>1</sup>、糸川健太郎<sup>1</sup>、比嘉由紀子<sup>1</sup>、上村 望<sup>1</sup>、澤田恵子<sup>1</sup>、三浦こずえ<sup>2</sup>、Kroesna Kang<sup>3</sup>、Sath Keo<sup>3</sup>、駒形 修<sup>1</sup> (1JIHS 国立感染研、<sup>2</sup>東京大学、<sup>3</sup>Royal Univ. Agricul., カンボジア)

- 11:40      **A13**      **Are Pyrethrum Spray Catch (PSC) and CDC Light Traps (CDC-LTs) Interchangeable? Evidence from indoor mosquito surveillance in Western Kenya.**  
 ○Ouko Muga<sup>1,2</sup>, Kyoko Futami<sup>1,2</sup>, Toshihiko Sunahara<sup>1,2</sup>, George O. Sonye<sup>3</sup>, Peter Lutiali<sup>4</sup>, Beatrice Awuor<sup>4</sup>, Noboru Minakawa<sup>2</sup> (1 TMGH, Nagasaki University, 2 NEKKEN, Nagasaki University, 3 Ability to solve by Knowledge (ASK), 4 NUITM/KEMRI)
- 11:52      **A14**      **西ケニアにおける蚊帳、マラリア原虫感染と媒介蚊の地理的解析**  
 ○皆川昇<sup>1</sup>, 池田恵理子<sup>1</sup>, 加賀谷渉<sup>1</sup>, Yura K. Ko<sup>2</sup>, George Sonye<sup>3</sup>, James Kongere<sup>4</sup>, Bernard N. Kanoi<sup>5</sup>, Jessy Gitaka<sup>5</sup>, Lucy Atieno Okech<sup>3</sup>, Nguka Ignation<sup>3</sup> (1長崎大学・熱帯医学研究所, 2 Karolinska Institutet, Sweden, 3 Ability to Solve by Knowledge Project, Kenya, 4Center for Research in Tropical Medicine and Community Development (CRTMCD), Kenya, 5Center for Research in Infectious Diseases, Mount Kenya University, Kenya)
- 12:10-13:20      昼食
- 総会・授賞式・受賞講演
- 13:20      総 会
- 日本衛生動物学会賞・佐々賞授賞式
- 15:00-15:10      休憩
- 大会シンポジウム「もっとベクターを知る」
- 15:10      **S01**      **蚊における犬糸状虫媒介能の分子基盤**  
 福本 晋也 (酪農学園大学・寄生虫)
- 15:50      **S02**      **マダニの吸血メカニズムと病原体伝播のブラックボックスに関する新洞察**  
 八田 岳士 (北里大学医学部・寄生虫・熱帯医学)
- 16:30      **S03**      **吸血行動から卵成熟へ 蚊における血液利用の制御機構**  
 佐久間 知佐子<sup>1,2</sup> (1理化学研究所・生命機能科学研究センター、2理化学研究所・開拓研究所)
- 17:10      **S04**      **ベクターにおけるメス特異的な吸血能力誘導機構の解明に向けて**  
 山本 大介 (自治医科大学・感染免疫学・医動物学)

4月18日(土曜日)

B会場(大会議室)

一般講演

- 9:00           **B01**        埼玉県衛生研究所敷地内における蚊の調査結果(2020~2025年)  
○儀同清香, 長島典夫, 今井浩一(埼玉県衛生研究所)
- 9:12           **B02**        2024年能登半島地震で液状化被害に見舞われた石川県河北郡西荒屋地区の蚊相変化  
○村上 学、及川 陽三郎、望月 恒太(金沢医科大学 医動物学)
- 9:24           **B03**        Distributions and co-occurrence patterns of vector mosquitoes in Japan  
○Yang C.<sup>1</sup>, Maekawa Y.<sup>1</sup>, Kasai S.<sup>1</sup>, and Higa Y.<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept. Med. Entomol., NIID, JIHS)
- 9:36           **B04**        日本産エゾヤブカ亜属は4種存在する: ゲノムワイドデータと雄交尾器形態による証拠  
○山田藍生<sup>1</sup>, 前川芳秀<sup>1</sup>, 藤田龍介<sup>2</sup>, 松村凌<sup>1,3</sup>, 網干有紗ローズ<sup>1,3</sup>, 楊超<sup>1</sup>, 葛西真治<sup>1</sup>, 比嘉由紀子<sup>1</sup> (<sup>1</sup> JIHS 感染研, <sup>2</sup>九州大学, <sup>3</sup>明治大)
- 9:48           **B05**        北海道積丹半島周辺地域で採集したトウゴウヤブカ (*Aedes togoi*) のミトゲノム解析  
○倉本樹<sup>1,2</sup>, 尾針由真<sup>3</sup>, 片山菜月<sup>1</sup>, 梶田さくら<sup>1</sup>, 黒川育望<sup>1</sup>, 吉岡莉子<sup>2</sup>, 石崎隆弘<sup>2</sup>, 中尾亮<sup>4</sup>, 佐々木基樹<sup>1</sup>, 福本晋也<sup>2</sup> (<sup>1</sup>帯畜大 獣医, <sup>2</sup>酪農大 獣医, <sup>3</sup>北大 人獣研, <sup>4</sup>北大 獣)
- 10:00          **B06**        トルコのエーゲ海および沿岸地域におけるサシチョウバエ類の集団遺伝学的研究  
○糸川健太郎<sup>1</sup>, Suha Kenan Arserim<sup>2</sup>, Kardelen Yetişmiş<sup>3</sup>, Metin Pekağırbaş<sup>4</sup>, Seray Töz<sup>3</sup>, Yusuf Özbel<sup>3</sup>, 黒木章弘<sup>5</sup>, 所司悠希<sup>5</sup>, 小林大介<sup>1</sup>, 山田藍生<sup>1</sup>, 比嘉由紀子<sup>1</sup>, 駒形修<sup>1</sup>, 葛西真治<sup>1</sup>, 三條場千寿<sup>5</sup> (<sup>1</sup>JIHS, <sup>2</sup>トルコ・マニッサ・セラル・バヤール大学, <sup>3</sup>トルコ・エーゲ大学, <sup>4</sup>トルコ・アイドゥン・アドナン・メンデレス大学, <sup>5</sup>東京大学)
- 10:12          **B07**        First Entomological Survey of Sand Fly Fauna in Zambia and the Potential Role of *Sergentomyia* Species in *Leishmania infantum* Transmission  
○Chizu Sanjoba<sup>1</sup>, Tatsuki Sugi<sup>2</sup>, Kyoko Hayashida<sup>2</sup>, Kanako Minagawa<sup>1</sup>, Enala T. Mwase<sup>3</sup>, Yasuyuki Goto<sup>1</sup> (<sup>1</sup>University of Tokyo, <sup>2</sup>Hokkaido University, <sup>3</sup>The University of Zambia)
- 10:24-10:40                    休憩

- 10:40 **B08** パキスタン流行地域における皮膚リーシュマニア症媒介サシチョウバエの同定  
○Shah Tariq Aziz<sup>1</sup>, 都野展子<sup>1</sup>, Himashri Talukdar<sup>1</sup>, Syed Basit Rasheed<sup>2</sup> (<sup>1</sup>金沢大学, <sup>2</sup>University of Peshawar)
- 10:52 **B09** トルコにおけるサシチョウバエ9種の分布推定  
○所司悠希<sup>1</sup>, 永野裕大<sup>1</sup>, 吉井啓太<sup>1</sup>, Kirami Ölgen<sup>2</sup>, Seray Töz<sup>2</sup>, 石濱史子<sup>3</sup>, Yusuf Özbel<sup>2</sup>, 後藤康之<sup>1</sup>, 宮下直<sup>1</sup>, 三條場千寿<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京大学, <sup>2</sup>Ege University, <sup>3</sup>国立研究開発法人国立環境研究所)
- 11:04 **B10** トルコ産サシチョウバエにおけるボルバキアの保有状況  
○皆川夏奈子<sup>1</sup>, 糸川健太郎<sup>2</sup>, Kardelen Yetişmiş<sup>3</sup>, Suha Kenan Arserim<sup>3</sup>, Gupse Kubra Karademir<sup>4</sup>, Seray Töz<sup>3</sup>, Yusuf Özbel<sup>3</sup>, 後藤康之<sup>1</sup>, 三條場千寿<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京大 農 免疫,<sup>2</sup>JIHS 昆虫, <sup>3</sup>Ege Univ, Türkiye, <sup>4</sup>Erciyes Univ, Türkiye)
- 11:16 **B11** ペルーのサシチョウバエにおけるキネトプラスト・核DNA不一致のリーシュマニア原虫の検出  
○加藤大智<sup>1</sup>, 高木秀和<sup>2</sup>, 伊藤誠<sup>2</sup>, Henry Trujillano<sup>3</sup>, Abraham Caceres<sup>4</sup> (<sup>1</sup>自治医大・医動物学, <sup>2</sup>愛知医大・感染・免疫学, <sup>3</sup>ペルー・クスコ地域保健局, <sup>4</sup>ペルー・国立サンマルコス大)
- 11:28 **B12** ダニ媒介性ウイルス感染症罹患リスクマップの構築に向けて  
中尾勝洋<sup>1</sup>, 木村俊也<sup>2</sup>, 鋤田龍星<sup>3</sup>, 武石真音<sup>3,4</sup>, 南博文<sup>5</sup>, 駒形修<sup>4</sup>, 犬丸瑞枝<sup>4</sup>, 砂原俊彦<sup>6</sup>, 比嘉由紀子<sup>4</sup>, 伊澤晴彦<sup>4</sup>, 澤邊京子<sup>4,7</sup> (<sup>1</sup>森林総研・関西, <sup>2</sup>愛媛県・保健福祉, <sup>3</sup>岡山理大・獣医, <sup>4</sup>国立感染研, <sup>5</sup>南動物病院, <sup>6</sup>長崎大・熱研, <sup>7</sup>東京大院・農学生命科学)
- 11:40 **B13** 北海道東部においてエゾタヌキから採集されたマダニ類  
渋谷隆伸, 荒井菜花, 浅利裕伸, ○山内健生 (帯畜大)
- 11:52 **B14** 近頃の各地ダニ調査で見た地理病理の攪乱  
○高田伸弘<sup>1</sup> (福井大・医), 小川基彦<sup>2</sup> (感染研), 小峰浩隆<sup>3</sup> (山形大・農), 石畝史<sup>4</sup> (福井県衛環研), 夏秋 優<sup>5</sup> (兵庫医大)

4月19日(日曜日)

A会場(大講堂)

一般講演

- 9:00 **A15** 人の移動経路とAIoTトラップ網の統合による蚊の刺咬リスク通知システムの提案  
○田山智洋, 蓮田裕一(帝京大学)
- 9:12 **A16** アブの吸血生態解明のためのBluetoothモジュールの開発  
○那須遼太郎<sup>1</sup>, 新田このか<sup>2</sup>, 田井中颯斗<sup>2</sup>, 荒井太陽<sup>2</sup>, 大滝修平<sup>2</sup>, 山田崇史<sup>2</sup>, 春田牧人<sup>2</sup>, 河津信一郎<sup>1</sup>, 井上昇<sup>1</sup>, 菅沼啓輔<sup>1</sup>(<sup>1</sup>帯広畜産大学原虫病研究センター,<sup>2</sup> 公立千歳科学技術大学)
- 9:24 **A17** 常温揮散性ピレスロイドを用いた新規屋内設置型蚊取り剤の開発(第2報)  
○船山将太, 加甲瑠奈, 九鬼奈紀, 岩本友美, 浮田涼子, 猪口佳浩, 菊田幸雄, 引土知幸, 川尻由美, 中山幸治(大日本除虫菊(株)中央研究所)
- 9:36 **A18** クロバエ類の室内飼育ならびに防除法に関する研究  
○九鬼奈紀, 服部恭平, 猪口佳浩, 菊田幸雄, 引土知幸, 神崎務, 川尻由美, 中山幸治(大日本除虫菊(株)中央研究所)
- 9:48 **A19** 天然成分(コパイバオイル)を用いた吸血性アブ類忌避効果の検証  
○菅沼啓輔<sup>1,2,3</sup>, 佐藤香月<sup>4</sup>, 浦田賢一<sup>5</sup>, 丹羽秀和<sup>5</sup>, Acosta Tomas<sup>4</sup>, 井上昇<sup>1</sup>(<sup>1</sup>畜大・原虫研<sup>2</sup>畜大・グローバルアグロメディシン研<sup>3</sup>畜大・畜産学部<sup>4</sup>JRA・日高育成牧場)
- 10:00 **A20** 捕食者のモデルはヒトスジシマカを減らすか?  
○砂原俊彦<sup>1</sup>(<sup>1</sup>長崎大学熱帯医学研究所病害動物学分野)
- 10:12-10:24 休憩
- 10:24 **A21** 2025年大阪・関西万博における不快昆虫としてのシオユスリカの大量発生とその防除対策 1) 万博会場におけるシオユスリカ成虫の大量飛来問題の概要  
○菅野格朗<sup>1,4</sup>, 波部峻也<sup>1</sup>, 片山淳一郎<sup>1,4</sup>, 山本直<sup>2</sup>, 平林公男<sup>3</sup>(<sup>1</sup>環境機器株式会社,<sup>2</sup>学校法人大原学園,<sup>3</sup>信州大学 学術研究院,<sup>4</sup>一般社団法人大阪府ペストコントロール協会)

- 10:36      **A22**      2025年 大阪・関西万博における不快昆虫としてのシオユスリカの大量発生とその防除対策 2) 黄色スティッキートラップを用いたシオユスリカのモニタリング  
○波部峻也<sup>1</sup>, 菅野格朗<sup>1</sup>, 平林公男<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>環境機器 株式会社, <sup>2</sup>信州大学 学術研究院)
- 10:48      **A23**      2025年 大阪・関西万博における不快昆虫としてのシオユスリカの大量発生とその防除対策 3) 万博会場におけるシオユスリカ成虫の飛翔距離と被害範囲の特定  
○菅野格朗<sup>1</sup>, 波部峻也<sup>1</sup>, 平林公男<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>環境機器 株式会社, <sup>2</sup>信州大学 学術研究院)
- 11:00      **A24**      2025年大阪・関西万博における不快昆虫としてのシオユスリカの大量発生とその防除対策 4) シオユスリカ成虫の走光性に関する野外実験  
○平林公男<sup>1</sup>, 波部峻也<sup>2</sup>, 菅野格朗<sup>2</sup>, 久保田智咲<sup>3</sup> ( <sup>1</sup>信州大学 学術研究院, <sup>2</sup>環境機器 株式会社, <sup>3</sup>株式会社 クリエイティブネクサス)
- 11:12      **A25**      東京都におけるヒトスジシマカの卵休眠に関する観察  
○徐雪嬌, 葛西真治 (JIHS 感染研・昆虫医科学部)
- 11:24      **A26**      西ケニアビクトリア湖畔における住血吸虫宿主貝の密度の季節変動と環境要因  
○二見恭子<sup>1</sup>, George Sonye<sup>2</sup>, Scholastica Wagala<sup>3</sup>, 小林典子<sup>1</sup>, Collins Ouma<sup>4</sup>, 皆川昇<sup>1</sup>, 濱野真二郎<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>長大熱研, <sup>2</sup>ASK, <sup>3</sup>NUITM-KEMRI, <sup>4</sup>Maseno Univ.)
- 11:36-11:48      休憩
- 11:48      **A27**      日本各地のトコジラミ集団の分子系統解析と侵入起源に関する考察  
○佐々木麻綾<sup>1</sup>, 坂本光<sup>2</sup>, 菊池寛<sup>2</sup>, 木村悟朗<sup>3</sup> ( <sup>1</sup>大阪健康安全基盤研究所, <sup>2</sup>(株)サニックス, <sup>3</sup>イカリ消毒(株))
- 12:00      **A28**      宿泊施設におけるトコジラミの分散と吸血行動に関する分子生物学的検討  
○坂本光<sup>1</sup>, 菊池寛<sup>1</sup>, 佐々木麻綾<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>株式会社サニックス, <sup>2</sup>大阪健康安全基盤研究所)
- 12:12      **A29**      オオキモンノミバエによる院内感染性ハエ症  
○荻野和正<sup>1,2</sup>, 日高惟<sup>3</sup>, 清水少一<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>産業医大 免疫学・寄生虫, <sup>2</sup>株式会社三共消毒, <sup>3</sup>産業医大 救急・集中医学)
- 12:24      **A30**      2024年から伊豆地方の動物病院で確認されたネコの SFTS  
○石嶋慧多<sup>1</sup>, 宮川栄济<sup>2</sup>, 平良雅克<sup>1</sup>, 海野愛子<sup>1</sup>, 朴ウンシル<sup>1</sup>, 前田健<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>国立健康危機管理研究機構 国立感染症研所, <sup>2</sup>宮川動物病院)

- 12:36      **A31**      奄美群島におけるナンヨウツツガムシ *Eutrombicula wichmanni* の初記録および初の  
人体刺症例  
○犬丸瑞枝<sup>1</sup>, 周戸大季<sup>2</sup>, 比嘉由紀子<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>JIHS 感染研・昆虫医科学, <sup>2</sup>琉大・教育)
- 12:48      **A32**      台風などの洪水時に川岸にいるネズミやツツガムシはどう対応するのか  
○高橋 守<sup>1,2</sup>, 三角仁子<sup>1</sup>, 吉田光辰<sup>2</sup>, 佐藤 寛子<sup>3</sup>, 柴田ちひろ<sup>3</sup>, 檜尾 拓子<sup>3</sup> ( <sup>1</sup>埼  
玉医大麻酔科, <sup>2</sup>川越総合高, <sup>3</sup>秋田衛研)
- 13:00      閉会挨拶

4月19日(日曜日)

B会場(大講堂)

一般講演

- 9:00            **B15**        フクオカウイルス(ラブドウイルス科レダンテウイルス属)の蚊における感染・増殖性の解析  
○小林大介, アシトリ・ヌー・ファイザー, 加来義浩, 前田健, 葛西真治, 伊澤晴彦  
(国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所)
- 9:12            **B16**        日本・福岡における野生シノビテトラウイルスの3年間のゲノムサーベイランスおよび解析  
○Blumberg B.<sup>1</sup>, 藤田龍介<sup>1</sup> (1生物資源環境科学府,九州大学)
- 9:24            **B17**        イエカ属蚊由来ウイルス分離株のハイスループット配列解析  
○アシトリ・ヌー・ファイザー<sup>1</sup>, 小林大介<sup>1</sup>, 金京純<sup>2</sup>, 沢辺京子<sup>3</sup>, 葛西真治<sup>1</sup>, 伊澤晴彦<sup>1</sup> (1国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所, 2鳥取大学, 3東京大学)
- 9:36            **B18**        2024年にトルコ共和国 Tokat 県および Sivas 県で採集されたマダニのRNAウイルス叢解析  
○松村凌<sup>1</sup>, Adem Keskin<sup>2</sup>, 土井寛大<sup>3</sup>, 所司悠希<sup>4</sup>, 澤邊京子<sup>4</sup>, Mehmet Aykur<sup>2</sup>, Çağlar Berkel<sup>2</sup>, Bekir Çelebi<sup>5</sup>, Umut Berberoğlu<sup>5</sup>, Elif Bulut<sup>5</sup>, Tuğba Keskin Taşkın<sup>5</sup>, Eray Şimşek<sup>6</sup>, Güray Tayyar Şimşek<sup>6</sup>, 伊澤晴彦<sup>1</sup>, 葛西真治<sup>1</sup>, Seher Topluoğlu<sup>5</sup>, Seray Toz<sup>7</sup>, Yusuf Özbel<sup>7</sup>, 三條場千寿<sup>4</sup> (1国立感染症研究所, 2Tokat Gaziosmanpaşa Üniversitesi, 3森林総合研究所, 4東京大学, 5Ministry of Health of The Republic of Türkiye, 6Sivas Cumhuriyet Üniversitesi, 7Ege Üniversitesi)
- 9:48            **B19**        トルコ共和国 Tokat 県および Sivas 県における *Hyalomma marginatum* の生息適地推定  
○土井寛大<sup>1</sup>, Keskin Adem<sup>2</sup>, 所司悠希<sup>3</sup>, 松村凌<sup>4</sup>, 澤邊京子<sup>3</sup>, Aykur Mehmet<sup>2</sup>, Berkel Çağlar<sup>2</sup>, Şimşek Eray<sup>5</sup>, Şimşek Gray<sup>5</sup>, Seray Töz<sup>6</sup>, Özbel Yusuf<sup>6</sup>, Seher Topluoğlu<sup>7</sup>, 三條場千寿<sup>3</sup> (1森林総合研究所, 2Tokat Gaziosmanpaşa Üniversitesi, 3東京大学, 4国立感染症研究所, 5Sivas Cumhuriyet Üniversitesi, 6Ege Üniversitesi, 7Ministry of Health of the Republic of Türkiye)
- 10:00           **B20**        広島県南部の人家周辺環境における野生動物寄生マダニの種同定と紅斑熱群リケッチアの検出  
○中林雅<sup>1</sup>, 土井寛大<sup>2</sup>, 奥田圭<sup>3</sup> (1広島大, 2森林総研, 3広島修道大)

- 10:12-10:24 休憩
- 10:24 **B21** 北海道で採取されたマダニにおける紅斑熱群リケッチア、アナプラズマ科細菌遺伝子の分子疫学調査  
○平良雅克<sup>1</sup>, Thillaiampalam Sivakumar<sup>2</sup>, Yihong Ma<sup>2</sup>, 白藤梨可<sup>2</sup>, 横山直明<sup>2</sup>, 前田健<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>JIHS 感染研 獣医科学部, <sup>2</sup>帯畜大 原虫病研究センター)
- 10:36 **B22** 飯能市北西部で採取したニホンジカ寄生マダニから検出された紅斑熱群リケッチアの系統解析  
○水野慎太郎, 小野岳史, 三木田馨 (防衛医大 国際感染症学)
- 10:48 **B23** 全国養鶏場調査に基づく HPAIV 媒介者と目される腐肉食性バエの鶏舎への飛来・侵入状況  
○上野弘人<sup>1</sup>, 紙谷 聡志<sup>1</sup>, 田中宏明<sup>1</sup>, 大西 浩翔<sup>2</sup>, 藤田龍介<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>九州大学大学院・農学研究院, <sup>2</sup>九州大学大学院・地球社会統合科学府)
- 11:00 **B24** 養鶏場における鶏カンピロバクターのハエによる伝播  
○佐々木瑞希, 落合六花, 金高陶子, 後藤達彦, 岩佐光啓, 佐々木貴正 (帯広畜産大学)
- 11:12 **B25** 千葉県の都市林におけるマツムラトリシラミバエの定性的生態評価  
○菅澤颯人<sup>1,2</sup>, 尾崎煙雄<sup>3</sup>, 木村悟朗<sup>2,4</sup>, 関まどか<sup>1</sup>, 佐藤雪太<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>岩大・獣医寄生虫, <sup>2</sup>千葉中央博・市民研究員, <sup>3</sup>千葉中央博, <sup>4</sup>イカリ消毒 (株))
- 11:24 **B26** 高床式開放型鶏舎における冬期活動性大型クロバエ類の季節消長について  
犬丸瑞枝<sup>1</sup>, 楊超<sup>1</sup>, 富岡康浩<sup>2</sup>, 谷川力<sup>2</sup>, 武藤敦彦<sup>3</sup>, 橋本知幸<sup>3</sup>, 葛西真治<sup>1</sup>, 比嘉由紀子<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>JIHS 感染研・昆虫医科学部, <sup>2</sup>イカリ消毒株式会社, <sup>3</sup>日本環境衛生センター)
- 11:36-11:48 休憩
- 11:48 **B27** 空間サイズおよび室内照明がハエ・コバエ類の捕獲効率に及ぼす影響  
○木村悟朗<sup>1</sup>, 谷川 力<sup>1</sup>, 阪東美智子<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>イカリ消毒株式会社 技術研究所, <sup>2</sup>国立保健医療科学院 建築・施設管理研究部)
- 12:00 **B28** 沸騰化猛暑下の首都圏で採集されたキャリアオン・フライ 3 種  
○倉橋 弘, 笹井剛博, 五十嵐悠加, 市川安美 (国際双翅類研究所)

- 12:12      **B29**      奄美大島におけるクモバエ科の新記録について  
○大塚 靖<sup>1</sup>, 池田悠吾<sup>2</sup>, 牧 貴大<sup>1,3</sup> ( <sup>1</sup>鹿児島大 国際島嶼教育研究センター, <sup>2</sup>東京大 農学生命科学研究科, <sup>3</sup>埼玉県環境科学国際センター)
- 12:24      **B30**      茨城県で2例目となるワモンゴキブリの生息確認と分布域  
○小松謙之, 能代正治 (株式会社シー・アイ・シー)
- 12:36      **B31**      東京都内で増加する農業上のネズミ被害とその対策への取り組み  
小勝正太郎<sup>1</sup>, 府中市農業後継者連絡協議会<sup>2</sup>, 佐々木健<sup>3</sup>, ○谷川力<sup>3</sup>, 清川泰志<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>府中市農業後継者連絡協議会, <sup>2</sup>府中市農業後継者連絡協議会, <sup>3</sup>東京都ペストコントロール協会, <sup>4</sup>東京大学)

**プログラム (英文)**

**Program (English)**

April 18 (Saturday)

Room A

8:55 Opening Remarks

General Presentation

- 9:00 **A01** **The protein structure database expressed in the organs and embryos of parthenogenetic *Haemaphysalis longicornis***  
○Hayato Kawada<sup>1,2</sup>, Yuki Koike<sup>2</sup>, Sana Sasaki<sup>2</sup>, Kei Jimbo<sup>2</sup>, Keiko Mizutani<sup>2</sup>, Fusako Mikami<sup>1</sup>, Naotoshi Tsuji<sup>1,2</sup>, Takeshi Hatta<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Kitasato Univ. Para. Trop. Medi., <sup>2</sup>Kitasato Univ. Mole. Cell. Para.)
- 9:12 **A02** **Functional Identification of Embryo-Specific Genes in *Haemaphysalis longicornis* for Vector Control Applications**  
○Kofi Dadzie Kwofie<sup>1</sup>, Hayato Kawada<sup>1,2</sup>, Yuki Koike<sup>2</sup>, Sana Sasaki<sup>2</sup>, Kei Jimbo<sup>2</sup>, Keiko Mizutani<sup>2</sup>, Fusako Mikami<sup>1</sup>, Naotoshi Tsuji<sup>1,2</sup>, Takeshi Hatta<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Dept. of Parasitol. and Trop. Med., Kitasato Univ. Sch. of Med., <sup>2</sup>Dept. of Mol. and Cell. Parasitol., Grad. Sch. of Med. Sci., Kitasato Univ.)
- 9:24 **A03** ***In vitro* induction of sexual stages of *Babesia ovata* and the impact of tick feeding characteristics on the tick-*B. ovata* semi-artificial feeding infection model**  
○Dong L.<sup>1</sup>, Umemiya-Shirafuji R<sup>1</sup>. (<sup>1</sup>NRCPD, Obihiro. Univ.)
- 9:36 **A04** **Establishment of a Feline Natural Infection Model for SFTSV**  
○Park E.S.<sup>1</sup>, Ishijima K.<sup>1</sup>, Taira M.<sup>1</sup>, Ami Y.<sup>2</sup>, Yonemitsu K.<sup>2</sup>, Okutani A.<sup>1</sup>, Kaku Y.<sup>1</sup>, Moritoh K.<sup>1</sup>, Inoue Y.<sup>1</sup>, Takeishi M.<sup>1,3</sup>, Miyamoto S.<sup>4</sup>, Sakai Y.<sup>4</sup>, Shiwa-Sudo N.<sup>4</sup>, Iwata-Yoshikawa N.<sup>4</sup>, Nagata N.<sup>4</sup>, Suzuki T.<sup>4</sup>, Maeda K.<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Vet. Sci.NIID JIHS, <sup>2</sup>Biosaf. Lab. Anim. & Pathog. Bank. NIID JIHS, <sup>3</sup> Div. Mol. Virol., Univ. Tokyo, <sup>4</sup>Infect. Dis. Pathol. NIID JIHS, <sup>5</sup> Infect. Dis. Pathobiol. Univ. Chiba)
- 9:48 **A05** **Cloning and expression of a major salivary gland antigen of *Tabanus nipponicus***  
○Zetian Zhang<sup>1,2</sup>, Sachiko Aoki<sup>1</sup>, Yuta Nakao<sup>1</sup>, Ercha Hu<sup>1,2</sup>, Bayinchahan Gailike<sup>2</sup>, Wei Zhang<sup>2</sup>, Qingyong Guo<sup>2</sup>, Keisuke Suganuma<sup>1</sup>, Shin-ichiro Kawazu<sup>1</sup>, Noboru Inoue<sup>1</sup> (<sup>1</sup>NRCPD, Obihiro Univ., <sup>2</sup>Xinjiang Agri. Univ.)

- 10:00      **A06**      **Cell death-associated factors induced by yellow fever virus and Zika virus infection in *Aedes* mosquito cells**  
○Toshinori Sasaki, Ryo Matsumura, Daisuke Kobayashi, Haruhiko Isawa (Dept. Med. Entomol., Natl. Inst. Infect. Dis., Jpn. Inst. Health Secur.)
- 10:12      **A07**      **Functional analysis of xanthine dehydrogenase expressed on the midgut of *Anopheles* mosquitoes**  
○Daiki Mizushima<sup>1</sup>, Daisuke S. Yamamoto<sup>1</sup>, Tabbabi Ahmed<sup>1</sup>, Meiji Arai<sup>2</sup> and Hiroto Kato<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Div. Med. Zool., Jichi Med Univ., <sup>2</sup>Dep. Int. Med. Zool., Kagawa Univ.)
- 10:24-10:40      Break
- 10:40      **A08**      **Construction of *Aedes aegypti* voltage-sensitive Na<sup>+</sup> channel-expressing cells**  
○Takashi Suzuki<sup>1</sup>, Yuji Mizokoshi<sup>1</sup>, Tadashi Kimura<sup>2</sup>, and Hitoshi Kawada<sup>3</sup> (<sup>1</sup>Kobe Tokiwa Univ., <sup>2</sup>Veneno Tech., <sup>3</sup>Nekken, Nagasaki Univ.)
- 10:52      **A09**      **Development of a high-throughput variant analysis method for targeted capture NGS data using the Wisteria/BDEC-01 supercomputer system**  
○Komagata O.<sup>1</sup>, Itokawa K.<sup>1</sup>, Nakagawa M.<sup>2</sup>, Itoyama K.<sup>2</sup>, Sanjoba C.<sup>3</sup>, and Kasai S.<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Med. Entomol., NIID/JIHS, <sup>2</sup>Appl. Entomol., Meiji Univ., <sup>3</sup>Mol. Immunol., Univ. Tokyo)
- 11:04      **A10**      **Utility of housefly-specific full-length sodium channel capture probes for kdr analysis in livestock-associated four families flies**  
○Nakagawa M.<sup>1</sup>, Itokawa K.<sup>1</sup>, Inumaru M.<sup>2</sup>, Itoyama K.<sup>2</sup>, Kasai S.<sup>1</sup>, and Komagata O.<sup>3</sup> (<sup>1</sup>Appl. Entomol., Meiji Univ., <sup>1</sup>Med. Entomol., NIID/JIHS)
- 11:16      **A11**      **First evidence of the N1570Y mutation associated with pyrethroid resistance and *Plasmodium* infection in *Anopheles gambiae* s.l. from Kinshasa, Democratic Republic of the Congo**  
○Nsalambi S.<sup>1</sup>, Metelo E.<sup>2</sup>, Manzambi E.Z.<sup>2</sup>, Iluku T.<sup>2</sup>, Kuramoto T.<sup>1,2</sup>, Umemiya-Shirafuji R.<sup>1</sup>, Fukumoto S.<sup>1,2</sup>. (<sup>1</sup>NRCPD, Obihiro. Univ., <sup>2</sup>Natl. Inst. Biomed. Res., <sup>3</sup>Med. Zool., Rakuno Gakuen Univ.)

- 11:28            **A12**        **Target-site mutations and pyrethroid resistance levels in *Aedes aegypti* distributed in the Indochina Peninsula**  
 ○Kasai S<sup>1</sup>, Itokawa K<sup>1</sup>, Higa Y<sup>1</sup>, Uemura N<sup>1</sup>, Sawada K<sup>1</sup>, Miura K<sup>2</sup>, Kang K<sup>3</sup>, Keo S<sup>3</sup>, Komagata O<sup>1</sup> (<sup>1</sup>JiHS-NIID, <sup>2</sup>Univ. Tokyo, <sup>3</sup>Royal Univ. Agricul., Cambodia)
- 11:40            **A13**        **Are Pyrethrum Spray Catch (PSC) and CDC Light Traps (CDC-LTs) Interchangeable? Evidence from indoor mosquito surveillance in Western Kenya**  
 ○Ouko Muga<sup>1,2</sup>, Kyoko Futami<sup>1,2</sup>, Toshihiko Sunahara<sup>1,2</sup>, George O. Sonye<sup>3</sup>, Peter Lutiali<sup>4</sup>, Beatrice Awuor<sup>4</sup>, Noboru Minakawa<sup>2</sup> (<sup>1</sup>TMGH, Nagasaki University, <sup>2</sup>NEKKEN, Nagasaki University, <sup>3</sup>Ability to solve by Knowledge (ASK), <sup>4</sup>NUITM/KEMRI)
- 11:52            **A14**        **Geographical analysis of bed nets, *Plasmodium* infection and vectors in western Kenya**  
 ○Noboru Minakawa<sup>1</sup>, Eriko Ikeda<sup>1</sup>, Wataru Kagaya<sup>1</sup>, Yura K. Ko<sup>2</sup>, George Sonye<sup>3</sup>, James Kongere<sup>4</sup>, Bernard N. Kanoi<sup>5</sup>, Jessy Gitaka<sup>5</sup>, Lucy Atieno Okech<sup>3</sup>, Nguka Ignation<sup>3</sup> (<sup>1</sup>Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, <sup>2</sup>Karolinska Institutet, Sweden, <sup>3</sup>Ability to Solve by Knowledge Project, Kenya, <sup>4</sup>Center for Research in Tropical Medicine and Community Development (CRTMCD), Kenya, <sup>5</sup>Center for Research in Infectious Diseases, Mount Kenya University, Kenya)
- 12:10-13:20            Lunch Break
- Annual General Meeting, Award Ceremony, and Award Lecture**
- 13:20            **Annual General Meeting**
- Award Ceremony for the Society Prize and the Sasa Prize**
- 15:00-15:10            Break
- Symposium
- 15:10            **S01**        **Molecular Basis of Heartworm Vector Competence in Mosquitoes**  
 ○Shinya Fukumoto (Parasitology Unit, Rakuno Gakuen Univ.)
- 15:50            **S02**        **New perspectives on tick feeding mechanisms and the black box of pathogen transmission**  
 ○Takeshi Hatta (Parasit. Trop. Med., Kitasato Univ. Sch. Med.)

- 16:30      **S03**      **From blood feeding to egg maturation - Regulatory mechanisms of blood utilization in mosquitoes**  
○Chisako Sakuma<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>RIKEN, BDR, <sup>2</sup>RIKEN, PRI)
- 17:10      **S04**      **Toward elucidating the mechanism of female-specific induction of blood-feeding ability in vector insects**  
○Daisuke S Yamamoto (Div. Med. Zool., Jichi Med. Univ)

April 18 (Saturday)

Room B

General Presentation

- 9:00           **B01**    **Mosquito Surveillance at Saitama Institute of Public Health (2020–2025)**  
○Gido S., Nagashima N., and Imai K. (Saitama Institute of Public Health)
- 9:12           **B02**    **Changes in the mosquito fauna of the Nishiaraya Kahoku district, Ishikawa prefecture, affected by soil liquefaction damage in the 2024 Noto Peninsula Earthquake.**  
○Murakami Manabu, Oikawa Yosaburo, Mochizuki Kota (Dept Med Zool., Kanazawa Med. Univ.)
- 9:24           **B03**    **Distributions and co-occurrence patterns of vector mosquitoes in Japan**  
○Yang C.<sup>1</sup>, Maekawa Y.<sup>1</sup>, Kasai S.<sup>1</sup>, and Higa Y.<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept. Med. Entomol., NIID, JIHS)
- 9:36           **B04**    **Four *Aedes* (*Aedes*) species occur in Japan: Evidence from genome-wide data and male genitalia**  
○Yamada A<sup>1</sup>., Maekawa Y<sup>1</sup>., Fujita R<sup>2</sup>., Matsumura R<sup>1,3</sup>., Aboshi A.R<sup>1,3</sup>., Yang C<sup>1</sup>., Kasai S<sup>1</sup>., Higa Y<sup>1</sup>. (<sup>1</sup>JIHS NIID, <sup>2</sup>Kyusyu Univ., <sup>3</sup>Meiji Univ.)
- 9:48           **B05**    **Mitogenome analysis of *Aedes togoi* collected in Shakotan region, Hokkaido, Japan**  
○Tatsuki Kuramoto<sup>1,2</sup>, Yuma Ohari<sup>3</sup>, Natsuki Katayama<sup>1</sup>, Sakura Kajita<sup>1</sup>, Ikumi Kurokawa<sup>1</sup>, Riko Yoshioka<sup>2</sup>, Takahiro Ishizaki<sup>2</sup>, Ryo Nakao<sup>4</sup>, Motoki Sasaki<sup>1</sup>, Shinya Fukumoto<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Dept. Vet., Obihiro Univ., <sup>2</sup>Dept. Vet., RGU, <sup>3</sup>IIZC, Hokkaido Univ., <sup>4</sup>Fac. Vet. Med., Hokkaido Univ.)
- 10:00          **B06**    **Population genetics for sand flies in the Aegean and Mediterranean coastal region of Türkiye**  
○Itokawa K<sup>1</sup>, Arserim SK<sup>2</sup>, Yetişmiş K<sup>3</sup>, Pekağırbaş M<sup>4</sup>, Özbel Y<sup>3</sup>, Töz S<sup>3</sup>, Kuroki A<sup>5</sup>, Shoshi Y<sup>5</sup>, Kobayashi D<sup>1</sup>, Yamada A<sup>1</sup>, Higa Y<sup>1</sup>, Komagata O<sup>1</sup>, Kasai S<sup>1</sup>, Sanjoba C<sup>5</sup>  
(<sup>1</sup>JIHS, <sup>2</sup>Manisa Celal Bayar Univ, Türkiye, <sup>3</sup>Ege Univ, Türkiye, <sup>4</sup>Aydın Adnan Menderes Univ, Türkiye, <sup>5</sup>UTokyo)
- 10:12          **B07**    **First Entomological Survey of Sand Fly Fauna in Zambia and the Potential Role of *Sergentomyia* Species in *Leishmania infantum* Transmission**  
○Chizu Sanjoba<sup>1</sup>, Tatsuki Sugi<sup>2</sup>, Kyoko Hayashida<sup>2</sup>, Kanako Minagawa<sup>1</sup>, Enala T. Mwase<sup>3</sup>, Yasuyuki Goto<sup>1</sup> (<sup>1</sup>University of Tokyo, <sup>2</sup>Hokkaido University, <sup>3</sup>The University of Zambia)

- 10:24-10:40 Break
- 10:40 **B08 Identification and incrimination of sandflies (Phlebotominae) of cutaneous Leishmaniasis in endemic areas of Pakistan**  
 ○Shah Tariq Aziz<sup>1</sup>, Nobuko Tuno<sup>1</sup>, Himashri Talukdar<sup>1</sup>, Syed Basit Rasheed<sup>2</sup>  
 (<sup>1</sup>Kanazawa University, <sup>2</sup>University of Peshawar)
- 10:52 **B09 Estimating ecological distribution of 9 species of sand fly in Türkiye.**  
 ○Yuki Shoshi<sup>1</sup>, Yuta Nagano<sup>1</sup>, Keita Yoshii<sup>1</sup>, Kirami Ölgren<sup>2</sup>, Seray Töz<sup>2</sup>, Fumiko Ishihama<sup>3</sup>, Yusuf Özbel<sup>2</sup>, Yasuyuki Goto<sup>1</sup>, Tadashi Miyashita<sup>1</sup>, Chizu Sanjoba<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Tokyo Univ, <sup>2</sup>Ege Univ, <sup>3</sup>NIES)
- 11:04 **B10 Prevalence of *Wolbachia* in sandflies collected from Türkiye**  
 ○Minagawa K.<sup>1</sup>, Itokawa K.<sup>2</sup>, Yetişmiş K.<sup>3</sup>, Arserim S. K.<sup>3</sup>, Karademir G. K.<sup>4</sup>, Töz S.<sup>3</sup>, Özbel Y.<sup>3</sup>, Goto Y.<sup>1</sup>, and Sanjoba C.<sup>1</sup>(<sup>1</sup>Tokyo Univ, <sup>2</sup>JiHS, <sup>3</sup>Ege Univ, Türkiye, <sup>4</sup>Erciyes Univ, Türkiye)
- 11:16 **B11 Detection of *Leishmania* DNA with kineto-nuclear discordance from the phlebotomine sand fly *Lutzomyia munaypata* in Peru**  
 ○Hiroto Kato<sup>1</sup>, Hidekazu Takagi<sup>2</sup>, Makoto Itoh<sup>2</sup>, Henry Trujillano<sup>3</sup>, Abraham Caceres<sup>4</sup> (<sup>1</sup>Div. Med. Zool., Jichi Med Univ., <sup>2</sup>Dept. Infect. Immun., Aichi med. Univ., <sup>3</sup>DIRESA Cusco, Peru, <sup>4</sup>Univ. Nac. Mayor de San Marcos, Peru)
- 11:28 **B12 Towards the development of a risk map for tick-borne viral infections**  
 Nakao K<sup>1</sup>, Kimura T<sup>2</sup>, Kuwata R<sup>3</sup>, Takeishi M<sup>3,4</sup>, Minami H<sup>5</sup>, Komagata O<sup>4</sup>, Inumaru M<sup>4</sup>, Sunahara T<sup>6</sup>, Higa Y<sup>4</sup>, Isawa H<sup>4</sup>, Sawabe K<sup>4,7</sup> (<sup>1</sup>FFPRI, <sup>2</sup>Ehime Pref. Govt., <sup>3</sup>Okayama Univ. Sci., <sup>4</sup>NIID, <sup>5</sup>Minami Animal Hospital, <sup>6</sup>NEKKEN, Nagasaki Univ., <sup>7</sup>Grad. Sch. Agr. & Life Sci., UTokyo)
- 11:40 **B13 Ixodid ticks collected from the Ezo raccoon dog *Nyctereutes procyonoides albus* in eastern Hokkaido, Japan**  
 Shibuya, T., Arai, N., Asari, Y., Yamauchi, T. (Obihiro Univ. Agr. Vet. Med.)
- 11:52 **B14 Some disruptions of geopathological phases found in recent acarid surveys**  
 ○Takada, N.<sup>1</sup>, Ogawa, M.<sup>2</sup>, Komine, H.<sup>3</sup>, Ishiguro, M.<sup>4</sup> and Natsuaki, M.<sup>5</sup> (<sup>1</sup>Fac. Med. Sci., Fukui Univ., <sup>2</sup>Nat. Inst. Infect. Dis., <sup>3</sup>Fac. Agr., Yamagata Univ., <sup>4</sup>Fukui Pref. Inst. Public Hlth. and <sup>5</sup>Hyogo Med. Coll.)

April 19 (Sunday)

Room A

General Presentation

- 9:00           **A15**    **Proposal of a mosquito bite risk notification system integrating human mobility paths and AIoT trap networks**  
○Tayama C., Hasuda Y. (Teikyo Univ.)
- 9:12           **A16**    **Developing a Bluetooth Module to Investigate Horsefly Blood-Feeding Behavior**  
○Ryotaro Nasu<sup>1</sup>, Konoka Nitta<sup>2</sup>, Hayato Tainaka<sup>2</sup>, Taiyo Arai<sup>2</sup>, Shuhei Otaki<sup>2</sup>, Takashi Yamada<sup>2</sup>, Makito Haruta<sup>2</sup>, Shinichiro Kawazu<sup>1</sup>, Noboru Inoue<sup>1</sup>, Keisuke Suganuma<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Obihiro Univ. of Agriculture & Vet. Med., <sup>2</sup>Chitose institute of Science and Technology)
- 9:24           **A17**    **Development of new indoor-installed mosquito insecticide containing ambient volatile pyrethroid (Part-2)**  
○Funayama S., Kakou R., Kuki D., Iwamoto T., Ukita R., Inoguchi Y., Kikuta Y., Hikitsuchi T., Kawajiri Y., Nakayama K. (Research & Development Laboratory, Dainihon Jochugiku Co., Ltd.)
- 9:36           **A18**    **Studies on laboratory rearing and control methods of blowflies**  
○Kuki D., Hattori K., Inoguchi Y., Kikuta Y., Hikitsuchi T., Kanzaki T., Kawajiri Y., and Nakayama K. (Research & Development Laboratory, Dainihon Jochugiku Co., Ltd.)
- 9:48           **A19**    **Seasonal prevalence of horseflies (Diptera: Tabanidae) in livestock farms in Tokachi, Hokkaido**  
○Suganuma, K.<sup>1,2</sup>, Sato, K.<sup>3</sup>, Urata, K.<sup>4</sup>, Niwa H.<sup>4</sup>, and Acosta, T.<sup>3</sup> (<sup>1</sup>NRCPD, Obihiro Univ., <sup>2</sup>GAMRC, Obihiro Univ., <sup>3</sup>ALIHUB, Obihiro Univ., <sup>4</sup>School of Agriculture, Obihiro Univ., <sup>5</sup>Hidaka Training and Research Center, JRA)
- 10:00          **A20**    **L Can the model of the predator reduce *Aedes albopictus* density?**  
○Sunahara T.<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University)
- 10:12-10:24    Break

- 10:24      **A21**      Massive flights of *Chironomus salinarius* midges (Diptera, Chironomidae) as nuisance insects and their counter-plans at Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan.  
 1) Overview of the massive flights of chironomid midges at Expo 2025  
 ○Kanno K<sup>1,4</sup>., Habe S<sup>1,4</sup>., Katayama J<sup>1,4</sup>., Yamamoto N<sup>2</sup>., and Hirabayashi K<sup>3</sup> (1Semco Co., Ltd., 2School Co O-HARA., 3Shinshu Univ., 4Osaka Pest control association)
- 10:36      **A22**      Massive flights of *Chironomus salinarius* midges (Diptera, Chironomidae) as nuisance insects and their counter-plans at Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan.  
 2) Monitoring of *Chironomus salinarius* using yellow sticky traps  
 ○Habe S<sup>1</sup>., Kanno K<sup>1</sup>., and Hirabayashi K<sup>3</sup> (1Semco Co., Ltd., 2Shinshu Univ. )
- 10:48      **A23**      Massive flights of *Chironomus salinarius* midges (Diptera, Chironomidae) as nuisance insects and their counter-plans at Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan.  
 3) Determining the flight range and impact zones of chironomid midges at the Expo 2025  
 ○Kanno K<sup>1</sup>., Habe S<sup>1</sup>., and Hirabayashi K<sup>2</sup> (1Semco Co., Ltd., 2Shinshu Univ.)
- 11:00      **A24**      Massive flights of *Chironomus salinarius* midges (Diptera, Chironomidae) as nuisance insects and their counter-plans at Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan.  
 4) Phototaxis of *Chironomus salinarius* midges in the field  
 ○Hirabayashi K<sup>1</sup>., Habe S<sup>2</sup>., Kanno K<sup>2</sup>. and Kubota C<sup>3</sup>. (1Shinshu Univ., 2Semco Co., Ltd., 3CR-NEXUS)
- 11:12      **A25**      Observations on Egg Diapause in *Aedes albopictus* in Tokyo, Japan  
 ○Xu X., Kasai S. (Department of Medical Entomology, NIID, JIHS)
- 11:24      **A26**      Seasonality of density of intermediate host snails of *Schistosoma mansoni* in the Lake Victoria, western Kenya  
 ○Futami K.<sup>1</sup>, Sonye G.<sup>2</sup>, Wagala S.<sup>3</sup>, Kobayashi N.<sup>1</sup>, Ouma C.<sup>4</sup>, Minakawa N.<sup>1</sup>, Hamano S.<sup>1</sup> (1NEKKEN, 2ASK, 3NUITM-KEMRI, 4Maseno Univ.)
- 11:36-11:48      Break
- 11:48      **A27**      Molecular phylogenetic analysis of *Cimex lectularius* collected in Japan: implications for its invasion origin  
 ○Sasaki M.<sup>1</sup>, Sakamoto H.<sup>2</sup>, Kikuchi H.<sup>2</sup> and Kimura G.<sup>3</sup> (1Osaka Inst. Public Health, 2Sanix Inc., 3Ikari Shodoku Co., Ltd.)

- 12:00      **A28**      **Molecular biological investigation into the infestation patterns and blood-feeding behavior of *Cimex lectularius* in accommodations**  
○Hikari Sakamoto<sup>1</sup>, Hiroshi Kikuchi,<sup>1</sup> Maaya Sasaki<sup>2</sup>. (<sup>1</sup>Sanix Inc, <sup>2</sup>Osaka Institute of Public Health.)
- 12:12      **A29**      **Nosocomial *Megaelia spiracularis* Nasal Myiasis**  
○Ogino K<sup>1,2</sup>., Hidaka Y.<sup>3</sup> and Shimizu S.<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept. Immunol. & Parasitol., University of Occupational and Environmental Health, Japan, <sup>2</sup>Sankyo Shodoku Co., LTD., <sup>3</sup>Dept. Emergency & Intensive Care Medicine, University of Occupational and Environmental Health, Japan)
- 12:24      **A30**      **SFTS cats at an animal hospital in the Izu region of Shizuoka prefecture, Japan, since 2024**  
○Ishijima K.<sup>1</sup>, Miyakawa E.<sup>2</sup>, Taira M.<sup>1</sup>, Unno A.<sup>1</sup>, Park E.<sup>1</sup>, Maeda K.<sup>1</sup> (<sup>1</sup>JiHS NIID, <sup>2</sup>Miyakawa AH)
- 12:36      **A31**      **First record and first human parasitism case of *Eutrombicula wichmanni* (Acari: Trombiculidae) in the Amami Islands**  
○Inumaru M.<sup>1</sup>, Shudo H.<sup>1</sup>, and Higa Y.<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept. Med. Entomol., NIID, JiHS, <sup>2</sup>Fac. Edu., Univ. Ryukyus)
- 12:48      **A32**      **Behavioral Responses of Riverbank Rodents and Trombiculid Mites During Typhoon-Induced Flooding**  
○Takahashi M.<sup>1,2</sup>, Misumi H.<sup>1</sup>, Yoshida M.<sup>2</sup>, Sato H.<sup>3</sup>, Shibata C.<sup>3</sup> and Kashio H.<sup>3</sup> (<sup>1</sup>Anesth. Saitama Med. Univ., <sup>2</sup>Kawagoe SHS., <sup>3</sup>Akita Inst. Public Health)
- 13:00      Closing Remarks

April 19 (Sunday)

Room B

General Presentation

- 9:00            **B15**      **Analysis of infection and replication dynamics of Fukuoka virus (family *Rhabdoviridae*, genus *Ledantevirus*) in mosquitoes**  
○Kobayashi D., Faizah A. N., Kaku Y., Maeda K., Kasai S., and Isawa H. (JIHS-NIID)
- 9:12            **B16**      **Three-Year Genomic Surveillance and Analysis of Wild Shinobi Tetravirus in Fukuoka, Japan**  
○Blumberg B.<sup>1</sup>, and Fujita, R.<sup>1</sup>. (<sup>1</sup>Grad. Sch. of Biores. and Bioenviron. Sci., Kyushu Univ.)
- 9:24            **B17**      **High-throughput viral sequence characterization of culture supernatants derived from *Culex* mosquitoes**  
○Faizah A.N<sup>1</sup>, Kobayashi D<sup>1</sup>, Kim K.S<sup>2</sup>, Sawabe K<sup>3</sup>, Kasai S<sup>1</sup>, and Isawa, H<sup>1</sup>. (<sup>1</sup>JIHS-NIID, <sup>2</sup>Tottori Univ., <sup>3</sup>The Univ. of Tokyo)
- 9:36            **B18**      **RNA virome analysis of ticks collected in Tokat and Sivas provinces, Türkiye, in 2024**  
○Ryo Matsumura<sup>1</sup>, Adem Keskin<sup>2</sup>, Kandai Doi<sup>3</sup>, Yuki Shoshi<sup>4</sup>, Kyoko Sawabe<sup>4</sup>, Mehmet Aykur<sup>2</sup>, Çağlar Berkel<sup>2</sup>, Bekir Çelebi<sup>5</sup>, Umut Berberoğlu<sup>5</sup>, Elif Bulut<sup>5</sup>, Tuğba Keskin Taşkın<sup>5</sup>, Eray Şimşek<sup>6</sup>, Güray Tayyar Şimşek<sup>6</sup>, Haruhiko Isawa<sup>1</sup>, Shinji Kasai<sup>1</sup>, Seher Topluoğlu<sup>5</sup>, Seray Toz<sup>7</sup>, Yusuf Özbel<sup>7</sup>, Chizu Sanjoba<sup>4</sup>
- 9:48            **B19**      **Habitat Suitability of *Hyalomma marginatum* in Tokat and Sivas, Türkiye**  
○Kandai Doi<sup>1</sup> Adem Keskin<sup>2</sup>, Yuki Shoshi<sup>3</sup>, Ryo Matsumura<sup>4</sup>, Kyoko Sawabe<sup>3</sup>, Mehmet Aykur<sup>2</sup>, Çağlar Berkel<sup>2</sup>, Eray Şimşek<sup>5</sup>, Gray Şimşek<sup>5</sup>, Töz Seray<sup>6</sup>, Yusuf Özbel<sup>6</sup>, Topluoğlu Seher<sup>7</sup>, Chizu Sanjoba<sup>3</sup>
- 10:00           **B20**      **Species identification of ticks parasitizing wild animals in residential environments of southern Hiroshima and molecular detection of spotted fever group Rickettsia**  
○Nakabayashi M<sup>1</sup>., Doi K.<sup>2</sup>, and Okuda K<sup>3</sup>. (<sup>1</sup>Hiroshima Univ., <sup>2</sup>FFPRI, <sup>3</sup>Hiroshima Shudo Univ.)
- 10:12-10:24            Break

- 10:24      **B21**      **Molecular Epidemiology of Spotted Fever Group *Rickettsia* and Anaplasmatidae Bacteria in Questing Ticks in Hokkaido, Japan**  
 ○Taira M.<sup>1</sup>, Sivakumar T.<sup>2</sup>, Ma Y.<sup>2</sup>, Umemiya-Shirafuji R.<sup>2</sup>, Yokoyama N.<sup>2</sup>, and Maeda K.<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept. Vet. Sci., NIID, JIHS, <sup>2</sup>NRCPD, Obihiro Univ. of Agriculture and Veterinary Medicine)
- 10:36      **B22**      **Molecular Phylogeny of Spotted Fever Group *Rickettsia* in Sika Deer-Associated Ticks from Hanno City, Japan**  
 ○Mizuno S., Ono T., and Mikita K. (Dept. Global Infect. Dis. & Trop. Med., NDMC)
- 10:48      **B23**      **Attraction to and invasion into poultry houses of necrophagous flies regarded as potential HPAIV vectors: a nationwide poultry farm survey**  
 ○Hiroto Ueno, Satoshi Kamitani, Hiroaki Tanaka, Hiroto Onishi, and Ryosuke Fujita  
 (<sup>1</sup>Faculty of Agriculture, Kyushu Univ., Graduate School of ISGS, Kyushu Univ.)
- 11:00      **B24**      **The role of flies in the transmission of *Campylobacter* in poultry farms.**  
 ○Sasaki M., Ochiai R., Kanetaka T., Goto T., Iwasa M. and Sasaki Y. (Obihiro Univ.)
- 11:12      **B25**      **Qualitative ecological evaluation of the louse fly (*Ornithomya avicularia*) in an urban forest in Chiba, Japan**  
 ○Sugasawa H.<sup>1,2</sup>, Ozaki K.<sup>3</sup>, Kimura G.<sup>2,4</sup>, Seki-Ichikawa M.<sup>1</sup>, Sato Y.<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Vet. Parasit., Iwate Univ., <sup>2</sup>Citiz. Sci., Nat. Hist. Mus. Inst., Chiba, <sup>3</sup>Nat. Hist. Mus. Inst., Chiba, <sup>4</sup>Ikari. Co., Ltd.)
- 11:24      **B26**      **Seasonal occurrence of winter-active blow flies in an elevated open-type poultry house**  
 Inumaru M.<sup>1</sup>, Yang C.<sup>1</sup>, Tomioka Y.<sup>2</sup>, Tanigawa T.<sup>2</sup>, Muto A.<sup>3</sup>, Hashimoto T.<sup>3</sup>, Kasai S.<sup>1</sup> and ○Higa Y.<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept. Med. Entomol., NIID, JIHS, <sup>2</sup>Jap. Env. Sanit. Center, <sup>3</sup>IKARI SHODOKU Co., Ltd.)
- 11:36-11:48      Break
- 11:48      **B27**      **Effect of spatial size and interior lighting on capturing of flies**  
 ○Kimura G.<sup>1</sup>, Tanikawa T.<sup>1</sup>, and Bando M.<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Tech. Res. Lab., Ikari Shodoku Co., Ltd., <sup>2</sup>Dept. Built Environ. Health, NIPH)
- 12:00      **B28**      **New face of carrion flies found in Tokyo Metropolitan area under global warming**  
 ○Kurahashi H.<sup>1</sup>, Sasai T.<sup>1</sup>, Igarashi H.<sup>1</sup>, and Ichikawa Y.<sup>1</sup>. (<sup>1</sup>IDD Tokyo)

- 12:12      **B29**      **New Records of Nycteribiidae (Diptera) from Amami-Oshima Island**  
○Otsuka Y.<sup>1</sup>, Ikeda Y.<sup>2</sup>, and Maki T.<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>Int. Cent. Island Stud., Kagoshima Univ.,  
<sup>2</sup>Grad. Sch. Agr. Life Sci., Univ. of Tokyo., <sup>3</sup>Cent. Environ. Sci. Saitama)
- 12:24      **B30**      **Second record of the American Cockroach in Ibaraki Prefecture and Its Habitat Range**  
○Komatsu N., Noshiro M. (Civil International Corporation)
- 12:36      **B31**      **Current Status of Rodent Damage to Agriculture in Tokyo and Field-Based  
Countermeasures**  
Shotaro ogatsu<sup>1</sup>, Fuchu City Agriculture Successors Association<sup>2</sup>, Takeshi Sasaki<sup>3</sup>,  
○Tsutomu Tanikawa<sup>3</sup>, Yasushi Kiyokawa<sup>4</sup> (<sup>1</sup>Fuchu City Agricultural Successors  
Association, <sup>2</sup>Fuchu City Agricultural Successors Association, <sup>3</sup>Tokyo Pest Control  
Association, <sup>4</sup>The University of Tokyo)